

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術Ⅱ	2	2年1組

1 使用教材

使用教科書	美術2
出版社	光村図書
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
② 思考・判断・表現	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造することができる。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
出席状況・授業態度	B	B	A	授業準備や道具の取り扱い、授業の様子
課題目標の達成度	A	A	B	目標に向かって自分なりに取り組めたか
学習プリント・成果物	A	A	B	学習プリントの内容や試作品など

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	<p>「人を、社会を変えていく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション <p>「作家の生涯と作品」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター <p>「心の中の風景」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウクレレ <p>「人物を描く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トーンセパレーション ・ 額装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題やサステナビリティをテーマに制作された作品を鑑賞し、人や社会を変えていく美術の力や働きを感じ取る。 ・ 日本のデザイン界を牽引した亀倉雄策の仕事に触れ、デザインの考え方や表現の工夫などを読み取り、見方や感じ方を深める。 ・ 心に浮かんだイメージから発想を広げ、立体物かつ楽器であるウクレレを工夫してあらかわす。 ・ 作家の人物画を鑑賞し、それぞれの工夫を参考にすする。 ・ 表情やポーズ、配色や構図で自分らしい作品に仕上げる。
2 学 期	<p>「採集するように撮影する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞 ・ 写真撮影 ・ 編集 ・ 印刷 ・ 作品集 <p>「花を描く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の周りのものの造形 ・ 自然物の美しさ ・ 下描き ・ アートナイフ ・ 切り絵 ・ 展示 <p>「抽象への誘い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞 ・ 共同制作 ・ 分業 ・ デザイン ・ インスタレーション ・ 記録に残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者がなぜ、同じモチーフを同じ条件で撮影したシリーズ作品にしたのかを考えて、写真作品についての見方や考え方を深める。 ・ 個人端末を活用し、自分の意図やあらわしたいものに合わせて、表現を工夫する。 ・ デジタルデータでの作品の管理や編集について基礎的な方法を理解する。 ・ 花を描いた4点の作品を比較鑑賞し、共通点や違いなどについて話し合う活動を通じて、それぞれの作品のよさを感じ取る。 ・ 日本の伝統的な表現や美術文化、工芸作品のよさを感じ取る。 ・ 切り絵の基本的な表現方法や道具の扱い方について理解し、表現意図に合わせて活用する。 ・ さまざまな作家の抽象絵画を鑑賞し、作品の見方や考え方を深める。 ・ 作品の特徴や時代背景について考え、キュビズムや抽象主義などの美術史への理解を深める。 ・ 空間や表現者、鑑賞者を巻き込む現代美術であるインスタレーション作品に挑戦する。 ・ 作品を写真に残すことで客観的に振り返る。
3 学 期	<p>「トータルデザインを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞「MIYAKE ISSEY 展」 ・ 情報収集 ・ 点から面で考える ・ ログタイプや写真 ・ テーマカラー ・ PRポスター ・ ミュージックビデオ <p>「イメージカラーで友達を描こう」</p> <p>一年間の振り返りとまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたいメッセージをどう整理し、展開していくか、実際の展覧会や企画を鑑賞して、統一感を意識したデザインについて理解を深める。 ・ テーマに合わせて形や色、構成などを創意工夫し、個性豊かで創造的にあらかわす。 ・ デザインの目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考える。 ・ 対象となる人物との関係や受ける印象をもとに発想を広げ、工夫して描く。